

議員提出議案第11号

羽田空港新飛行ルートの再考を求める意見書

上記の議案を提出します。

令和2年10月13日

中野区議会議長 高橋 かずちか 殿

提出者	中野区議会議員	長沢	和彦
		羽鳥	だいすけ
		いさ	哲郎
		小杉	一男
		浦野	さとみ
		長沢	和彦
		来住	和行

羽田空港新飛行ルートの変更を求める意見書

国は本年3月29日より、国際線の増便を主な目的とした羽田空港新飛行ルートの本格運用を開始している。しかし、現在、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、東京2020（オリンピック競技）大会が延期になるなど、国際便は大幅な減便となっているが、中野区民からは、「騒音がひどすぎて、窓も開けられない」「落下物が心配だ」といった声が多数、寄せられている。

6月3日、国土交通大臣は、羽田空港新飛行ルートの固定化を回避するための方策を早急に検討するため、有識者及び専門家による検討会の立ち上げを表明し、現在、議論が行われている。今年度中に方策のメリット・デメリットを整理するとされているが、騒音軽減等の観点からの見直しは欠かせない。

よって、中野区議会は、国会及び政府に対し、羽田空港新飛行ルートの固定化を避ける取り組みを具体的に検討するよう国に強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

年 月 日

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣 あて

国土交通大臣

中野区議会議長名